



Burn  
My  
Blood

yd



ARKHAM-STUDIO  
2006 Winter



Adult Only!

深夜0時から始まる  
世界の狭間

影時間

その異界で人は  
二種類に分かたれる

棺を模した象徴と化し、  
自らが深い眠りにについている  
ことに気付かない人々と

す、少し待ってくれ…

こんな状態で…  
そんなに早く  
歩けるわけがないだろう！

ぶるっ

影時間においても意識を有し  
自在に活動できる素養の持ち主とだ

さらにその中でも『召喚器』を用いて  
もう一人の自分を具現化させる存在を  
『ペルソナ使い』と呼び

だがそれより以前から私は  
『桐条グループ』を継ぐ立場の人間だった  
…はずだ

私と「彼」はその力を用いて  
人間に敵対する脅威『シャドウ』  
と戦う者だ

う…も、もう…  
我慢が…

この先の公園で…  
本当にさせてくれるんだな？

「彼」との交わりを経て  
今までの自分が  
壊されていくのがわかる

、トイレに行かせて  
られるんじゃない  
かったのか?!

「彼」と出会ってからの私は  
自分ではなくなっていくようで  
少し怖いという感覚もある

うう…そんなになに…  
激しくされたら…もう…ッ

そ、そこは…!



しかし、彼との交わりで『桐条美鶴』が壊されていくことに快感を覚えているのは間違いないのだ

…それにしても彼にはまだまだ謎が多いようだが…



**Bad Status!**



**Burn My Blood.**



Burn My Blood INDEX

Color. P. 03-

mono. P. 09-

contributors. P. 31-

postscript. P. 37



年が明け、早くも一週間が経った  
終末を恐れる人々の声は  
カルトの台頭を招き

タルタロスに眠る謎もまた  
未だにその全てを  
明らかにしてはいない

だが、目下私の心を乱しているのは  
そういったことよりも…  
むしろ

すっかり当たり前になってしまった  
彼との交歓についてである

彼との逢瀬は私が  
『桐条』であることを  
忘れさせてしまおうことすらあり

ま、また胸を  
いじるのか？

ぶるん、

そして、それに  
「濡れている」という  
自覚があっても抜け出すことができない

あまり…  
強くしないでくれ

ズッ…

アッ

今では私の方から求めることもあるし、  
それを自然と感じている面もある



あ…  
む、胸で…するんだな？

最近は何が何を欲しているのかも  
分かるようになってきた

…たまにそのことが  
恐ろしくもなるのだが



私の体にこんな使い方が  
あるなど、考えもしなかったし

や、やっぱり  
君のこれは熱い…な…  
今にも爆発してしまいそうだ

彼の体が私の体をこんなにも  
熱くするなど、考えもしなかった

そして私が彼にこんな表情を  
させられるなんて知らなかったし

彼が私に教えてくれることは  
全てが信じられないことばかりだが



熱いあ

『桐条美鶴』が彼の手によって作り変えられていく  
感覚が、この上なく甘美なものに感じられている  
ことを否定することはできない

ふふ…たくさん  
出したな…

コクン





ん…  
体勢を変えるのか…?

ギョッ

ゴッ



ときどき…彼が何を考えているのか  
わからなくなることもあ



しかし、彼自身についてはまだまだまだ  
わからないことも多い







な、何故こんな場面とこに…



アイギス…が…？



あー…

当然説明してもらえない  
ものと思っているが…

返答次第では

処刑

だな…？

か、彼が悪い  
んじゃないやしません！

ザーン

…いくら私がヒトとして  
生きようとしても、  
この身体は所詮機械のまま

子を宿し次代に繋ぐ…  
その生命の根本を再現  
することはできません

そこでラボの方々に  
お願いしたところ！

擬似的に生殖行為を  
なぞらえる機能だけは  
実装してもらえたんです！！

…ほう…？

ラボの  
連やま  
がカチンか。



何か勘違いされている  
ようですが…

今回私に実装されたのは  
男性型兵装(?)  
の方なんです

ガシッ

ってうわ!  
何で拘束する?!

さっきの主張と  
正反対じゃないか?!

奇合ないよだけどもか!

マリー様  
おッ!?

大丈夫:  
私はロボだから  
ノーカンであります















…稼働限界到達  
強制的にシャットダウンします





…お父様

君は…父親になりたいと思ってるのか？

ほー

はははははははは  
そうかそうか



そんなに処刑されたがっていたとは全く気付かなかったな

ビクッ



それにしても…  
好き勝手にしてくれたものだな

結局避妊すらせず前二回後ろで二回…

ギョ



…どうでもいっしょ

ビキィ



…もちろん他のみんなもね

まずは二人で  
この決戦に生き残らないと

…父親になるにしても



…人

…やっぱり彼のことも、  
彼に惹かれていた私自身のことも  
よくわからない

ともかく、決戦の日は  
すぐそこに近付いている

答えを探すのは、  
全てを終えてからでもいい  
…そう思うことにした

あひむー…

バグン

バグン



アイギスは「あります」しゃべりで  
貫徹すべきだったと思いました。




**contributors.**











はじめまして、ふみあきです。  
数年ぶりに漫画らしきものを描かせて頂きました。  
本の雰囲気壊してしまったのではないかと  
ちょっと不安だったりもします…。  
普段は男ばかり描いているのですが  
今回は女の子をいっぱい描かせて頂き楽しかったです。  
実はP3は初ベルソナ作品だったのですが  
これがなかなか面白くてのめり込んでしまいました。  
続けて初期のベルソナや他のアトラス作品にも  
手を出してみたいと思っています。

最後になってしまいましたがワタルさん  
今回はお招き頂きありがとうございました。

<http://ergo.mods.jp/>

MITSUMI



postscript.

お手に取ってくださった皆様はじめまして  
特に変わった肩書きもない錫屋ワタルと申します。

ペルソナ3にやや遅ればせながら大ハマリし、今  
回こうして人生初の18禁同人誌を発行することと相  
成りました。

…本当にギリギリまで手こずったせいで色々と不  
出来なところも目立つと思いますが、ひとまずは次  
回までの課題と言うことで。

快くゲストを引き受けてくださったふみあきさんとあみみさんに  
この場を借りてお礼を言わせていただきます。

錫屋ワタル

来春のペルソナ3フェスが楽しみな年の瀬に

発行：ARKHAM-STUDIO (<http://www.arkham-studio.com/>)  
著者：錫屋ワタル（すずのやわたる）  
印刷：株式会社 栄光 様 (<http://www.eikou.com/index.asp>)  
発行日：2006年12月31日

※著者の許可なく転載・二次配布は行わないでください。